

11/15  
2007年 第960号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
敬 志岐 会  
大 発 行 人  
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33  
大 電 話 (06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
● 定価・年間10,000円 月1,000円  
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

【表】個人立歯科診療所の収支状況推移

	金額(千円)				金額伸(対05年比)(%)
	01年6月	03年6月	05年6月	07年6月	
I 医療収入	3,857	3,700	3,544	3,455	▲2.5
1. 保険診療収入	3,358	3,279	3,076	2,984	▲3.0
2. 労災等診療収入	0	2	2	3	50
3. その他の診療収入	462	388	380	423	11.3
4. その他の医療収入	36	32	86	45	▲47.7
II 介護収入	-	-	1	2	▲50.0
1. 居宅サービス収入	-	-	1	2	▲33.3
2. その他の介護収入	-	-	0	0	0
III 医療・介護費用	2,588	2,469	2,197	2,228	1.4
1. 給与費	1,029	1,018	981	990	0.9
2. 医薬品費	52	45	42	41	▲2.4
3. 歯科材料費	250	223	196	214	9.2
4. 委託費	431	415	347	374	7.8
5. 減価償却費	192	158	156	162	3.8
(再掲)建物減価償却費	69	52	50	56	12
(再掲)医療機器減価償却費	59	54	54	65	20.4
6. その他の医療費用	634	610	474	447	▲5.7
IV 収支差額 (I+II-III)	1,269	1,233	1,351	1,229	▲9.0
施設数	599	555	642	593	-

注) 2001年~2007年実施分「医療経済実態調査(速報値)」をもとに作成。

## 富本昌之経税部長が談話

# 収支前回比9ポイント減

## 診療報酬改善を強く求める

医療経済実態調査

厚労省は2007年6月診療分を対象に実施した医療経済実態調査の速報値を中医師に報告した。この結果から見ると、歯科医院経営の実態や問題点など、協会経税部長の富本昌之氏から談話をいただいた。(編集部)



速報値によると、個人診療所の医療収入は05年調査と比べて保険診療収入が9・2万円、3ポイント

落ち込んだ。自費診療収入が4・3万円増えたものの、収入全体は8・9万円、2・5ポイントの減少となった。06年の診療報酬マイナス改定の影響があまりにも大きかったため、自由診療収入のわずかな増加では保険収入激減分をカバーしきれない状況にある。97

この結果、収支差額は「平均値」で122・9万円、前回比12・2万円、9・0ポイントのマイナスと過去最大の下げ幅になり、歯科医院経営の窮状が鮮明になった。収支差額には日歯が「速報値の見解」で述べているように「①院長報酬のほかに、②建物・設備等の改築・更新の費用、③借入金返済、④所用積立金(院長の退職金、法定福利費相当分等)が含まれ」ており、それらを差し引けば、本来の院長報酬は月50万円を満たないことになる。

また、歯科診療所の収支差額などから医療経営の実態を明らかにしようとするのなら、算術平均値だけでは不十分である。全体像を見るためには、中央値と最頻値も含めるべきである。ちなみに、前回調査の確定値に見る収支差額は、中央値が算術平均の80%、最頻値が同57%だったことを指摘しておきたい。

今回の調査結果で明らかになったのは、国民に対する医療の質の確保と安心・安全な歯科医療の提供が揺らぎかねない状況下で、経営規模を縮小する方向へ追いつめられていることである。これからの診療報酬改定論議にあたって、安心・安全で信頼される歯科医療を確保するため、医療費総額の拡大と診療報酬プラス改定・患者負担軽減を強く求めるものである。

17日の近畿総決起集会、29日の国会内集でも、患者負担軽減や診療報酬引き上げを求めていく。地方自治体に向けては、医療費助成制度拡充、審査・指導の民主化、訪問診療時の駐禁対策などを中心に恒例の大府交渉を12月20日に予定しており、会員の参加を呼びかける。

来年1月27日投票の知事選挙では、「明るい民主大阪府政をつくる会」の知事候補・梅田章二氏と、大阪府民の医療・福祉を強く求めることとした。

協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。

第8回理事会  
協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。

第8回理事会  
協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。

第8回理事会  
協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。

第8回理事会  
協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。

第8回理事会  
協会では第8回理事会を10日に開いた。来年4月の診療報酬改定をめぐる中医師などの審議が具体化するなかで、これまで集めた院長署名「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」1328人分を、8日、自民党の福田康夫総裁をはじめ与野幹部、中医師会役員ら23人に郵送した。



## 「戦争をしない日本」の実現へ 「今度の騙しは手ごわいぞ」にご参加下さい

山上紘志副理事長が呼びかけ

おおさか医科・歯科九条の会

平和憲法を守ろうと結成された「おおさか医科・歯科九条の会」は、安齋青郎立命館大学教授(立命館大学国際平和とコミュニケーション学館長)を招き、「こんどは騙しは手ごわいぞ」9条と25条は表裏の関係」と題して25日、M&Dホールで講演会を開く。山上紘志氏(歯科協会副理事長)が、講演会への参加と同会への賛同を呼びかける。

「九条の会」は空想らしい存在感をもっています」と語りかけています。世界に「憲法九条を守る」という心算の医療者が提供できる「戦争をしない日本」を実現する

「九条の会」は空想らしい存在感をもっています」と語りかけています。世界に「憲法九条を守る」という心算の医療者が提供できる「戦争をしない日本」を実現する

「九条の会」は空想らしい存在感をもっています」と語りかけています。世界に「憲法九条を守る」という心算の医療者が提供できる「戦争をしない日本」を実現する

「九条の会」は空想らしい存在感をもっています」と語りかけています。世界に「憲法九条を守る」という心算の医療者が提供できる「戦争をしない日本」を実現する

首都圏の学生「九条の会」が「Peace N light」を16日に早稲田大学で開きます。「集まれ9児たち☆灯せ平和の光」との呼びかけ

が、各大学に広がっています。各界で活躍する人々から賛同のメッセージが寄せられています。女優の吉永小百合さんからは、「武力から平和は生

まれません。世界中が「憲法九条」を大事にして、戦争がなくなるように、願っています」と。 「九条の会」が発足してから、全国津々浦々の

員名  
会署

「診療報酬引き上げ 患者負担軽減」を求める要請書  
FAXで協会までお送り下さい 06-6568-0564(今号に折り込み)

「診療報酬引き上げ 患者負担軽減」を求める要請書  
FAXで協会までお送り下さい 06-6568-0564(今号に折り込み)

「診療報酬引き上げ 患者負担軽減」を求める要請書  
FAXで協会までお送り下さい 06-6568-0564(今号に折り込み)

### 各種相談室

専門家がおこたえします

法律相談

【日時】12月3日(月)午後2時~4時  
【相談者】河村武信弁護士

税務相談

【日時】12月19日(水)午後2時~5時  
【相談者】西村博史税理士

雇用相談

【日時】12月20日(木)午後2時~4時  
【相談者】堀口正二社労士  
相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。事前予約制で、1週間前に締め切ります。



梅田章二氏(明  
るい会知事予定候補)  
プロフィール

京都大学法学部を卒業

後、1982年に弁護士登録、大阪中央法律事務所所属。担当しているおもな事件は、イラク自衛隊派遣差止訴訟、護国、原爆症認定訴訟、護国など。その他、大阪憲法会議副幹事長、日本反核法律家協会理事、イラクの子どもを支援するおおさか市民基金理事なども務める。

後、1982年に弁護士登録、大阪中央法律事務所所属。担当しているおもな事件は、イラク自衛隊派遣差止訴訟、護国、原爆症認定訴訟、護国など。その他、大阪憲法会議副幹事長、日本反核法律家協会理事、イラクの子どもを支援するおおさか市民基金理事なども務める。

後、1982年に弁護士登録、大阪中央法律事務所所属。担当しているおもな事件は、イラク自衛隊派遣差止訴訟、護国、原爆症認定訴訟、護国など。その他、大阪憲法会議副幹事長、日本反核法律家協会理事、イラクの子どもを支援するおおさか市民基金理事なども務める。

### 歯界

『週刊東洋経済』や「財界展望」などで「日本の医療」を特集している。必ずしも医療崩壊の現状を、ビジネスチャンスとばかりにとらえているのではない。健康あつての金儲けと、本気で心配もしている。

極端な医療費削減政策への批判も見られる。必ずしも急性期医療だけでなく、産科や小児科や高齢者医療だけでなく、厚労省や医師会や教育の場もカバーしている。山崎豊子の「白い巨塔」は出てこないが、アメリカ映画「シッコ」も出てくる。現場の苦悩も矛盾も多々伝えているし、各方面から多様な提言もある。全体に真面目な議論なのに先が見えてこない。むしろ、水から仏壇まで輸入される時代だから、医療資源も輸入をと言った悪ふざけみたいな議論は少ない。

ただ、医療問題は仕事や失業など国民生活全般と平和や海外派兵や憲法と密接に関わる問題であるところから、話が少なくて、話題提供の域をあまり出していない。